

オフィシャルイベント

第24回文化庁メディア芸術祭受賞作品展



会 期：2021年9月23日（木・祝）～10月3日（日）
会 場：日本科学未来館／CINEMA Chupki TABATA／パナソニックセンター東京／スパイラルホール／
池袋HUMAXシネマズ／分身ロボットカフェDAWN ver. β
主 催：第24回文化庁メディア芸術祭実行委員会
協 力：CINEMA Chupki TABATA／EIZO(株)／インテル(株)／(株)サードウェーブ／(株)デビッドワッツ／(株)ビームス／
(株)ヒューマックスシネマ／(株)ユニットコム／(株)フコールアートセンター／大日本印刷(株)／デル・テクノロジーズ(株)／
日本科学未来館／パナソニック(株)（パナソニックセンター東京）／富士通クライアントコンピューティング(株)／
分身ロボットカフェDAWN ver. β
公式サイト URL：https://j-mediaarts.jp/festival/

総来場者数（参加数）：8,689人（対昨年比181%）（国内入場者数（参加数）：8,689人 海外入場者数（参加数）：0人）
ビジネスエリアの来場者数（参加数）：291人（国内入場者数（参加数）：291人 海外入場者数（参加数）：0人）
出展参加国と地域数：103の国と地域…ただし、コンテストの応募国・地域数
プレス社数：32社（国内プレス社数：32社 海外プレス社数：0社）

■開催内容

第24回文化庁メディア芸術祭には、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門に世界103の国と地域から3,693作品の応募があった。受賞作品展では、徹底した新型コロナウイルス感染症対策のもと、多様な表現形態を含む受賞作品と、功労賞受賞者の功績を一堂に展示するとともに、トークイベント、ワークショップ等の関連イベントを実施。多彩なクリエイターやアーティストが集い、“時代（いま）を映す”メディア芸術作品を体験できるフェスティバルを実施した。

■2021年度の新規取り組みとその成果・特色など

受賞作の中にオンラインの技術を用いた作品があったため、障がい者等が自宅から会場で作品説明を行う試みや、遠隔で展覧会を鑑賞できる試みを実施した。また、オンラインでトークイベントコンテンツを配信し、のべ70,000viewを超える多くの方々に視聴された。

■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数・成果

バリアフリー・ミニシアター「CINEMA Chupki TABATA」との連携で、バリアフリーアニメーション作品上映会（字幕、音声ガイド等）を実施。のべ272名が鑑賞した。

